

第 90 期第 3 回理事会 作井技術委員会活動報告

令和 7 年度・第 2 回作井技術委員会運営幹事会 議事録

会議名称	令和 7 年度 第 2 回 運営幹事会
日時	2025 年 7 月 31 日 (木) 16:00 - 17:30
場所	JOGMEC 虎ノ門本部 16C 会議室、Webex (ハイブリッド開催)
出席者 (敬称略)	北村、永岡、石川、菅原、安武、安部、池田 (リモート)志村、青木、黒田、田村、吉田、伊澤、青木、古井

内容	<p>議題 1 : 報告事項</p> <p>以下の事項について報告した。</p> <ul style="list-style-type: none">委員の交代<ul style="list-style-type: none">新任 八幡 和洋 (ENEOS Xplora) 筑井 秀昌 (エスケイエンジニアリング) 齋藤 真一郎 (深田サルベージ)離任 遠藤 勇太 (ENEOS Xplora) 官野 俊 (エスケイエンジニアリング) 藤田 研 (深田サルベージ)第 90 期第 2 回理事会について報告(北村委員長より要点を説明。)<ul style="list-style-type: none">審議事項 5 件 :<ul style="list-style-type: none">①会員の異動、②令和 7 年 4/5 月次決算、③第 90 回総会・令和 7 年度 春季講演会開催概要、④特別見学会参加者募集、⑤秋季講演会懸案事項 4 件 :<ul style="list-style-type: none">①法人化、②日本地球惑星科学連合 2025 年大会 学協会セッション、 ③90 周年記念事業ワーキングチーム、④事務局体制および移転分科会活動<ul style="list-style-type: none">➤ 大水深掘削技術分科会 10 月頃目途に、廃山関係のテーマで開催を見込む。なお、昨今の業界トレンドに鑑み大水深掘削の需要が減少していることを受け、本分科会の継続性についても検討を行うこととする。➤ CCS/CCUS 分科会 座長の交代について検討を行う。➤ 若手技術者交流会
----	--

座長の交代、次回開催について検討を行う。

議題 2：令和 7 年度 春季講演会 全体と作井部門の総括

- 令和 7 年度春季講演会の参加登録者数、アンケート集計結果等の紹介を行った。シンポジウムパネルディスカッションの開催方法、アンケート実施方法については次回春季講演会に向け再検討すること、アンケート結果を踏まえ、複数以上の回答者から“協会誌への投稿を希望する”と回答を得た個人講演発表者については、協会誌投稿を打診することについて、合意を得た。
- シンポジウム講演の協会誌投稿・査読状況について共有した。一件執筆作業が停滞している原稿があり、早急に対応を相談する打合せを設けるべく関係者に連絡することとした。

議題 3：第 1 回作井技術委員会について

- 開催方針、議題案のほか、特別講演の準備状況について紹介した。いずれも現状の進め方にて合意を得た。

議題 4：令和 7 年度 作井技術委員会の活動計画の審議

- 活動方針/年間スケジュール/令和 7 年度活動費予算/令和 6 年度活動費実績について審議を行い、可決された。“議題 1”にも記載のとおり、活動方針に係る大水深掘削技術分科会の継続要否については、令和 8 年度活動方針検討までに、結論付ける方針とした。
- 令和 6 年度活動費について、6 万円程度の残金が生じた点について議論を行い、より効率的な運用を目指し、今後運営幹事会での定期的な予算状況の共有の必要性等について議論がなされた。

以上